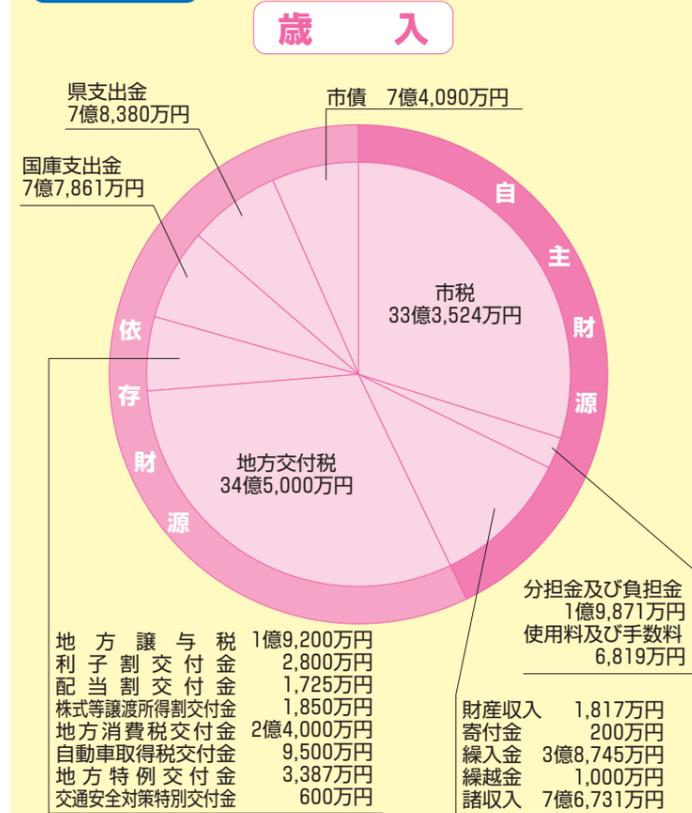
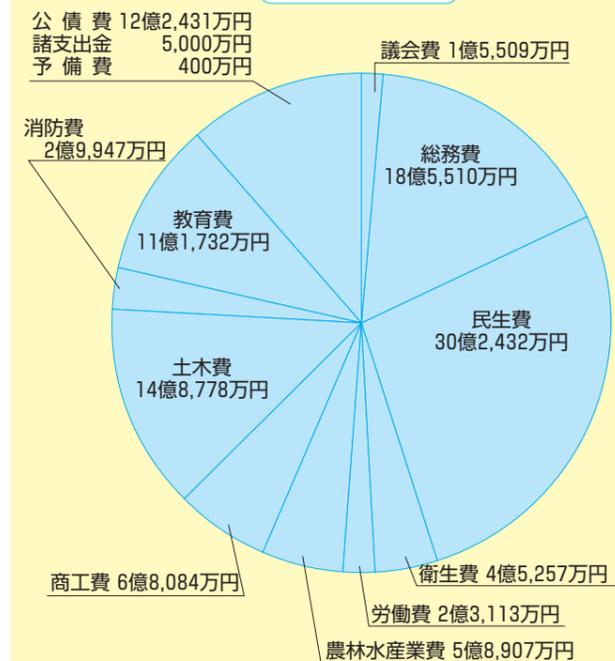


一般会計



歳出



20年度当初予算概要

一般会計予算は111億7100万円(前年度比5.5%増)で、各特別会計と上水道の企業会計を含めた全体の予算規模では、長寿医療制度(後期高齢者医療制度)導入に伴う老人保健特別会計の大幅減により、前年度比11%減の190億453万円となりました。

一般会計では、5億8692万円(前年度比3%減)したものの、防災対策事業や市民会館工レベーター整備事業、史跡白山平泉寺旧境内総合整備事業などの新規事業や、道整備交付金事業の増によるものです。他にも、下水道事業特別会計への繰入金、起債償還額の影響により減額となったものの、後期高齢者医療広域連合負担金が新たに必要となったことも要因となっています。

平成20年度予算総額

190億453万円 (-11.0%)

一般会計 111億7,100万円 (5.5%)

特別会計 72億1,026万円 (-29.0%)

区分	予算額	前年度比増減(%)
育英資金会計	4,174万円	11.8
下水道事業会計	13億743万円	-1.1
農業集落排水事業会計	3億2,567万円	-9.1
簡易水道事業会計	8,862万円	-38.9
国民健康保険会計	22億9,210万円	-17.8
老人保健会計	3億2,648万円	-90.1
後期高齢者医療会計	3億4,583万円	皆増
介護保険会計(保険事業)	24億3,910万円	12.8
介護保険会計(介護サービス事業)	1,102万円	-10.0
市有林造成事業会計	3,227万円	21.9

企業会計 6億2,326万円 (0.3%)

水道事業会計 6億2,326万円 0.3

市民生活の  
安全安心を確保



平成20年度  
予算特集

市税などの主な自主財源が低迷するなか、平成20年度の予算編成にあたっては、一般財源ベースで厳しい要求基準を設定したほか、見直しを図った行財政改革実施計画の推進と一体的な編成を行いました。

特に、早期に取り組みを求められている市民生活の安全安心を確保するための事業については、集中的に予算配分を行いました。また、子育て支援施策の拡充や、本年度から5か年計画で整備する史跡白山平泉寺旧境内総合整備事業などのまちづくり関係施策にも積極的に予算計上しました。これにより、一般会計の予算規模は4年ぶりに110億円を超える積極型予算となりました。

勝山さんちの家計簿 例えば年収を300万円(月収25万円)とすると……

収 入		支 出	
平成20年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると	平成20年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると
市税などの自主財源 47億8,707万円	給料・パート収入 25万円	繰入金・補助費・出資金・貸付金等 32億0,335万円	子どもへの仕送り・各種会費など 16万7,300円
地方交付税、国・県支出金等 56億4,303万円	両親からの仕送りなど 29万4,700円	人件費 23億5,096万円	食費 12万2,800円
市債発行 7億4,090万円	各種ローンの借入 3万8,700円	扶助費 16億8,123万円	医療費 8万7,800円
収入計 111億7,100万円	収入計 58万3,400円	普通建設事業費・維持補修費 15億8,998万円	車の購入・自宅の増改築・修繕費 8万3,000円
		公債費 12億2,183万円	ローン返済 6万3,800円
		物件費 11億1,218万円	光熱水費・被服費等 5万8,100円
		積立金 1,147万円	新たに預ける貯金 600円
		支出計 111億7,100万円	支出計 58万3,400円

